

おはようございます。令和6年、新しい年を迎えました。みなさんは、どのような年末年始を過ごしたでしょうか。2週間と少しの冬休みを振り返り、それぞれによい年となるよう、今年もしっかり頑張りましょう。

さて、今年の始まりは、とんでもないニュースが日本列島を駆け巡りました。みんなよく知っていてとても心配している、能登半島での大地震です。コロナの扱いが変わり、新たな一步を踏み出そうというときに、次の災難に襲われました。何事もなく、おめでとう！と言って迎えた新しい歳の最初の日に、突如襲いかかったこの災難に遭い、亡くなった方や避難生活を余儀なくされている方々に、哀悼とお見舞いの気持ちを持ちながら、次の二つのことを考えました。

一つは、平成30年に起こった豪雨災害の時のこと。当時のみなさんの先輩も考え行動しました。何かできることはないだろうか、と考えるのはとても誠実で尊いことだと思います。ただし、自分自身にもしなければならぬことがあります。自分がすべきことを後回しにしたり、しなかつたりすることの言い訳にならないよう心掛けたいものです。本当に支援を必要としている方々に対し、とても失礼なことになるので、今の自分たちにできること、として知恵を出し合ひましょう。

もう一つは、今の幸せな生活は、恵まれた環境の中にある奇跡的な状況だということ。この度、お気の毒にも命を落とされた方達は、私たちと同じく、明日からの明るい生活を信じ新年を迎えられたことと思います。しかし無情にも、予測もできない事態で、突如、人生を終えることになりました。ご冥福をお祈りしながら、明日、自分に何が起きるかわからないとも思い、今を大切に生きなければならないと感じました。今のこの瞬間に悔いのない生き方ができるよう心掛けたいと思いますが、自分だけが満足ではいけないとも思います。

冬休みに考えて欲しいと伝えた、みんなが幸せに生活できる社会を築くには、大人になるとはどういうことか、重ねて考えてみてください。

いよいよ新年を迎え、3年生の高校生活は残り僅かです。本当に悔いのない高校生活のゴールテープを、胸を張って駆け抜けてください。

2年生、1年生は、あとは任せてください、と自信を持って言えるよう、今日から始まる3学期に1年間の総仕上げをして、新しい学年に進みましょう。

以上、あらためて今年のみなさんの活躍を期待して、3学期始業式のあいさつとします。